






令和4年度(第42期) 桜台自治会 定期総会議事録

自治会長	議長	副議長	書記	
			1	2
				

1. 開催日時 : 令和4年4月24日 9時30分～12時
2. 開催場所 : 桜台自治会館 2階大ホール
3. 開催方法 : コロナ禍の会場の出席人数に制限があるため、出席人数を絞って会議を開催した。議長団4人、新旧常務役員会役員10人、会計監査1人、各町内2名の代議員8名、広報部1名の2階大ホール定員24名の出席で開催された。
事前に議案書を会員に配布し、定期総会開催の委任、議長団の信任、各議案の承認、否認の議決権の行使を求めた。代議員は議案書に対する貴重な意見を提出していただいた会員中から、常務役員が選出して定期総会出席を依頼した。
4. 「議案書に対する意見の対応」の報告 : 桐田副会長
特に質問はなし。
添付資料① 「第42期(令和4年度)定期総会議案書」を参照のこと。
添付資料② 「第42期(令和4年度)定期総会議案書における意見と対応」を参照。
添付資料③ 支出:雑費(総勘定元帳)
5. 総会開催成立要件: 委任数 856世帯(総会員数1176世帯) 73% 過半数で成立。
添付資料④ 「第42期桜台自治会定期総会委任状議決集計結果」を参照のこと。
6. 開会宣言: 荒牧副会長
7. 自治会長挨拶 : 星野会長
令和2年から始まったコロナ禍で活動らしい活動はできなかったが、令和4年度もコロナ感染第7波を危惧する学者も多い。議案書にミスがあつて皆さんにご迷惑をおかけしてしまいましたが、審議の程宜しく願います。
8. 議長団選出: 信任数 855世帯(総会員数1176世帯) 73% 過半数で信任
議長 中村 伸志(4丁目) 副議長 高村 修次(3丁目)
書記 大庭 直広(1丁目) 山田 亜子(3丁目)
9. 総会出席者
(1) 星野会長、荒牧副会長、玉川副会長、中嶋副会長、桐田副会長、

(2) 高橋 1 丁目地区長、片桐 2 丁目地区長、藤田 3 丁目地区長、園前年度 2 丁目地区長、安藤前年度 3 丁目副会長、島本前年度 4 丁目地区長

(3) 代議員

① 1 丁目: 2 名とも急用で出席できず

② 2 丁目: 早山 茂、久保田 巖

③ 3 丁目: 森田 貞夫、西村 俊英

④ 4 丁目: 坂井 真由美、藤田 富紀子、男性 1 名氏名不明荒牧さんに問い合わせ

10. <審議>

(1) 第 1 号議案「令和 3 年度活動報告」星野会長説明

○活動報告概要 ○専門部活動報告 ○その他の活動報告

(質疑応答等)

Q: (2 丁目末永): P4, 5.(3) ボランティア支援で防犯ボランティア(40,000 円)になっているが、防犯ボランティアは 20,000 円、花ボラ(15,000 円)、お助けマン(5,000 円)です。

A: 了解しました。(星野会長)

Q: (2 丁目久保田): 改革プロジェクトで夏祭り等イベントの見直しで、縮小だけでなく子供たちのための企画等盛り上げることも検討して欲しい。

A: 了解しました。(桐田副会長)

Q: (3 丁目森田): 市から自治会活動についての表彰があったら、この議案書の活動記録に乗せて残すべきである。

A: 今年も 10 年ぶりに市から表彰状を頂いた。そのようにします。(星野会長)

Q: (2 丁目久保田): P12 の会長の役割で、いろいろな会合に出席しているが、本当に必要な会合ですか。ほかの副会長に割り振ることはできないのか。

Q: (3 丁目森田) 改革プロジェクトで副会長以下の役員の業務削減の検討はあるが、会長の業務削減は対象外だが、検討したらどうか。

Q: (3 丁目西村) 内田会長の時代は会長の会合出席を副会長に割り振っていた。

A: このほかにも会合があり、必要な会合と考えている。一人で全部に出席するのは大変である。会合は土日だけではないので、現役で仕事をしている副会長もいるので割り振ることは難しい。今後検討する。(星野会長)

Q: アンケートの中に役員への謝礼を出す案に対して会員の皆さんから肯定的な意見が多かったと聞いているが、改革プロジェクトでどう検討しているか。

A: 議論は進んでいない。自治会活動は事務的処理や日直などを事務局業務を除き、今までボランティアで行われてきたが、一部の役員業務において個人的な時間の犠牲が多いこともあって、役員の中から謝礼の提案があり、アンケートでは会員の皆さんから肯定的な意見を頂いた。改革プロジェクトでは今後役員を容易に引き受けてもらうために、副会長、地区長、理事、班長の業務を如何に削減するかに取り組んでおり、その

結果を踏まえて、謝礼の問題を検討することになっている。ちなみに椎の木台自治会では3役に月5000円、青葉台地区の一部町会自治会で交通費として月5000円を支給している。(桐田副会長)

<議決> ※議案書内容の通りで確認、承認を受ける。

- (2) 第2号議案 ①「令和3年度会計報告」… 桐田副会長説明
② 令和3年度繰越金の処分案… 桐田副会長説明
③ 会計監査報告… 末永会計監査員説明

(質疑応答)

Q: (2丁目久保田) 今年度の議案書に間違いがあって事前に会長名で差し替えが行われたが、どこが間違っていたのか、その理由等が表紙の連絡文書に記載がなかった。明記すべきだと思う。

A: 了解しました。(星野会長)

Q: (2丁目久保田) コロナ禍で自治会活動が制限されているにもかかわらず固定費が減っていない。

A: コロナ前と比較して増えているのは人件費のみで、予算との比較だけでは見えていないところがある。人件費が増えたのは45,116円増えている中には、本部役員会議事録を作成してもらっている山田事務員の手当てが増えている。(桐田副会長)

Q: (2丁目久保田) 六町会青年会協力金は深代消防団(第8分団)の協力金ならそのように明記すべきだ。

A: (2丁目末永) 以前消防団への寄付や協力金は公的機関へのものなので制限され、領収書には消防団と記載できなくなったと聞いている。

A: 会計報告の備考欄の第8分団への協力金と明記する。(桐田副会長)

Q: (2丁目久保田) 近隣町会協力金は他の協力金とダブって納めていることはないか。

A: 近隣町会協力金は深代自治会に対してのもので、鴨川道路から深代池に沿って桜台団地入口のバス車庫までの道路の両脇で、年2回の草刈りに対してお礼として出さしていただいている。この道路は会員が頻繁に利用しており、交通安全、美観向上等で役立っています。確かに市道であり市に要望はしていますが、市ではそこまで手が届いていないのが現状で、深代自治会が毎回20人ほど参加して行われていますが、暑さの中大変な作業です。(星野会長)

Q: (2丁目久保田) 自衛隊協力金1000円とはあまりに少ない。どうやって決めているのか。

A: 以前から1000円になっている。(星野会長)

Q: 自治会費の納入は1150世帯になっているが計算が合わない。3月末の世帯数1176

は2022年3月末ですか。未納者はどのくらいですか。

A: 納入会員数を計算しなおします。令和4年3月末の会員数です。令和3年度分は未納会員数は35世帯ですが、2年から5年の滞納者がおり、この分の滞納金は210,000円です。今後、納入を強力に働きかけていきます。(桐田副会長)

Q: (3丁目森田) 令和3年度は営繕積立金が0になっているのはなぜか。会則では自治会費の5%を毎年積み立てることになっている。

A: ミスです。会計監査でも指摘されています。以後気を付けます。(桐田副会長)

Q: (3丁目森田) 次年度繰越金が2,354,796円もあるのに、預貯金が282,356円しか増えていないのはなぜか。

A: (2丁目末永) 次年度繰越金と預貯金増加とは関係がありません。

<議決> ※議案書の一部訂正をもって承認を受ける。

添付資料⑤ 令和4年度定期総会議案書「令和3年度会計報告」の訂正分を参照のこと。

(3)第3号議案「令和4年度役員改選」… 星野会長説明

(質疑応答)

Q: (2丁目早山) 4丁目荒牧氏が副会長と地区長を兼務しているが、いままでなかったことで、これが認められると恒例化する可能性がある。否認します。今までは、理事同志の互選で決めてきたがこれでは決まらないのですか。

A: 理事同志の互選では決まらなくなっているのが現状で、区内で自治会経験者を探しても地区長になる人が見つからず、やむを得ず兼任させていただきました。自分は副会長を8年留任になっているのも、同じ理由です。自分に人脈が不足しているのもありますが、どこの区でも副会長、地区長のなり手がなく苦勞しています。自治会全体の問題として捉えて取り組ませていただきます。(荒牧副会長)

Q: (2丁目末永) 会長、会計監査の任期は2年であるので今年改選時期ではないので、記載の必要はない。

A: 訂正します。(荒牧副会長)

<議決> ※議案書の一部訂正をもって承認を受ける。

添付資料⑥ 令和4年度定期総会議案書「役員改選」の訂正分を参照のこと。

(4)第4号議案「令和4年度活動方針」(変更案)… 荒牧副会長説明

(質疑応答)

Q: (2丁目早山) 変更案とあるが、議案であるので記載の必要なし。

A: 削除します。(荒牧副会長)

Q: (3丁目久保田) 活動方針が次ページの専門部活動方針概要に反映されていないがどうしてですか。

A: 反映はこれからの専門部活動計画で行っていきます。(荒牧副会長)

Q: (3丁目森田) 工事費429万円の大規模補修工事が行われることになっているが、予算には出てくるけど、活動方針や計画に出てこないため議案書には詳しく記載されていない。記載すべきです。また、業者選定や工事品質確保をどうするのかも会員に知らせるべきです。

A: この工事は昨年度第6号議案で承認され、工事の透明化と公正を図るため、桜台自治会改修工事プロジェクトを結成し進めてきました。市原市から最大200万円の補助金を頂くために、市からの要求手続きに従って、工事仕様の明確化、競争見積もりによる施工者、工事金額の決定、発注が済んでいることを条件に、昨年9月に申請手続きを終えて、今年4月末に補助金の決定がされ、支給の申請手続きに入る段階です。

進捗状況については都度会長に報告し、本部役員会で審議決定を頂いています。

今後、議案書ではこのような大規模改修においては、工事等の実施予定の情報を入れるように工夫させていただきます。工事計画、工事仕様、見積依頼、査定等の工事記録は事務所にありますので必要ならご確認願います。(桐田副会長)

<議決> ※議案書の一部訂正をもって承認を受ける。

添付資料⑦ 令和4年度定期総会議案書「令和4年度活動方針」の訂正分を参照のこと。

(5) 「令和4年度会計予算(案)」… 桐田副会長説明

(質疑応答)

Q: (2丁目久保田) 募金補填金 80,000 円の記載があるが、赤い羽根等の募金では桜台で 20 万円超の募金が集まっていて、4 募金で 80,000 円、1 募金 20,000 円は少ないのではないかと。今後募金はどのように考えているか。

A: 今進めている改革プロジェクトでは、班長業務の削減で集金業務なしを検討する中で、募金の回覧を回した後、自治会館に募金箱を置くことで集金をし、募金額が 2 万円に達しない場合は補填することになっている。(椎の木台自治会は募金箱を自治会館に置き、集金は止めた。)(桐田副会長)

Q: (4 丁目坂井、藤田) 自治会館に募金箱を置くことでは募金は集まらないと思う。集金は大変だが、会員の見回りや情報交換で大きな意味がある。一旦集金を止めれば復活はできない。善意をもって募金する人も多いので再考してほしい。

A: 改革プロジェクトにこのような意見があったことを伝え、再考します。(桐田副会長)

Q: 予算案で、昨年度決算書にある受取利息が間違っています。822 円です。

A: 訂正します。(桐田副会長)

Q: (2丁目久保田) 桜祭り支援金は実施が困難になっているので予算はいらないと会長に告げているが載っている。予算はあるようなので防犯ボランティアのユニホームの更新はできませんか。17年間使ってヨレヨレになっている。更新してもいい時期に来ている。ネームプリントが桜台自治会から防犯ボランティアパトロール隊に変えたい。

A: 一度に70着ということですが、中には更新しなくてもいいものもあるのではないのでしょうか。色あせたものや袖口のゴムが緩んでいるもの等劣化しているものから取り替えたらどうでしょうか。(桐田副会長)

Q: (2丁目久保田) 一部更新となると、誰から更新していいか問題があるので、一度にやりたいのです。

A: (議長)防犯パトロール隊内で話し合ってください。

<議決> ※議案書の一部訂正をもって承認を受ける。

添付資料⑧ 令和4年度定期総会議案書「令和4年度会計予算(案)」の訂正分を参照のこと。

(6)その他

① 令和4年度 役員名簿の訂正

(添付資料⑨「令和4年度 役員名簿」の訂正分を参照のこと。)

- a. イベント企画部の部長の記載が間違っている。イベント企画部長は卯月氏です。
- b. 2丁目2区は、佐々木勇一氏が理事でイベント企画部副部長です。

11. 添付資料

添付資料① 「第42期(令和4年度)定期総会議案書」送付済

添付資料② 「第42期(令和4年度)定期総会議案書における意見と対応」

添付資料③ 支出:雑費(総勘定元帳)

添付資料④ 「第42期桜台自治会定期総会委任状議決集計結果」

添付資料⑤ 令和4年度定期総会議案書「令和3年度会計報告」訂正分

添付資料⑥ 令和4年度定期総会議案書「役員改選」の訂正分

添付資料⑦ 令和4年度定期総会議案書「令和4年度活動方針」の訂正分

添付資料⑧ 令和4年度定期総会議案書「令和4年度会計予算(案)」の訂正分

添付資料⑨ 「令和4年度 役員名簿」の訂正分

以上

第42期(令和4年度)定期総会議案書における意見と対応

桜台自治会

NO	班名	提案者	意見	対応
1	1-2-7	大野敏雄	(1)コロナ禍で通常の定期総会が開けなくなって「本部役員会を審議議決の会議として本部役員会に代える」となっていますが、理事に参加のない会議は本部役員会ではないので、訂正が必要です。	本部役員会を定期総会に代える会議として計画し理事が出席するように考えていましたが、議論を活発にする目的で各町2名の代議員の出席となりましたので、正しくはない。承知しました。
			(2)選出すべき議長団の名前の記載なし。委任も否認もできない。	原稿の入れ違いと印刷前の確認不足。
2	1-3-14	高橋峰生	役員名簿で2丁目理事、生井沢氏がダブルで記載され佐々木勇一氏が抜けている。	2丁目2区は佐々木勇一氏(イベント企画副部長)、2丁目1区卯月英次氏(イベント企画部長)です。
3	2-2-28	浅野 進	議決権行使書に印鑑を要求していますが、廃止を提案します。	今後不要とします。
4	2-2-28	久保田 巖	(1)現在進めている「改革プロジェクト」の途中経過や結果を伝えてほしい。令和5年度から実施になると、次期定期総会で審議議決が行われると思われるが、検討期間が必要なためです。若い人もいるので高齢化対策のみに偏るのは問題があります。コロナ禍で専門部活動が無くても存続していることを踏まえて、専門部活動をゼロベースで見直し、専門部の統廃合を検討するいい機会だと思います。	プロジェクト会議議事録の公開等検討経過を会員に報告することを考えます。一緒に検討を進めたい人がおられましたらプロジェクトに入って一緒にやりましょう。
			(2)令和4年4月18日付で令和3年度会計報告は差し替えられましたが、会計監査は令和4年4月9日のままです。この経緯について説明ください。	4月9日の会計監査では、4月18日に差し替えられた会計報告書で監査を実施して合格になっています。議案書を印刷する段階で14ページに間違っただけが入り込み、確認のないまま印刷に回ってしまいました。
			(3)六町会青年会協力金及び体育振興会費について、必要性和メリットについて教えてください。	六町会青年会協力金は深代消防団第八分団への協力金です。消防団へのお礼を兼ねて出しています。今後震災発生時の消防団の救助対応を協議したいと考えています。体育振興会費とは正式には有秋地区社会体育振興会の会費です。全町会から徴収されています。
			(4)予算額が第41期定期総会で承認され金額と異なるものが5つほどあるが何故ですか。	第41期定期総会議案書の次年度予算は、総会で一部変更分が審議されて承認されていますので、昨年度配布された議案書とは異なっています。

NO	班名	提案者	意見	対応
			(5)令和3年度 次年度繰越金の処分案の金額が会計報告書の差し替え前後で同一金額になっているのはなぜですか。	会計監査を受けて合格した決算報告が議案書の印刷で間違っただけで、決算書の変更はありません。
			(6) 第42期会計予算で新たに募金支援金がありますが説明してください。	改革プロジェクトで班長の集金業務を無くすための検討が進んでいますが、定期総会の審議議決が必要ないものはすぐにでも進めていこうと考えています。募金は自治会館に備えた募金箱にそれぞれ持ってきていただくように考えていますが、目標金額が集まらなかった場合の補填金として、1募金当たり20,000円 4募金分を上げています。
5	2-3-6	江刺 勝	第5号議案のうち、収入の部令和3年度実績中 8. 受取利息659円は822円です。10,715,649円が10,715,812円にご記入を訂正してください。	訂正します。
6	2-4-13	中條 信	第2号議案、令和3年度会計報告14ページ、収支残高が合いません。修正願います。	14ページの誤添付です。差し替えました。
7	2-4-13	早山 茂	(1)4丁目副会長、地区長、2丁目2区と3区の理事の兼務は反対です。 (2)4号議案、コロナ禍の中、大変ですができるだけ実施する様に進めてください。 (3)5号議案で令和3年度実績の数字が間違っています。	4丁目に地区長なる人が見つからず、やむを得ず兼務になっています。2丁目の理事は誤記です。訂正します。 修正します。受取利息が659円から822円に修正します。
8	2-4-15	我孫子正博	会館から流れる防災無線が聞き取れません。改善をお願いします。	後日、調査して対応させていただきます。
9	2-4-18	末永 悟	第3号議案 役員改選で会長、会計監査の任期は2年ですので今年度は改選期ではなく、総会において、訂正願います。	了解しました。
10	2-4-6	片桐 裕	1200世帯を超える大規模自治会で、急激に進む高齢化の中、難題が山積みですが、①安心安全なまちづくり②もしもの災害時の助け合い(共助)③子供たちへのふるさと意識を植え付ける施策展開など自治会しかできない目標に向かって、だんだん少なくなってきたスタミナ、パワーに見合う、無理のない適切な自治会活動に期待しています。	自治会改革プロジェクトを発足させて取り組んでいます。

NO	班名	提案者	意見	対応
11	3-1-1	寄国 義春	①会員からの緊急動議・意見に迅速に対応すべく”仕組み”を会則に盛り込む。緊急性の高い動議・ご意見は、緊急に本部役員会を招集して対応する等	会則改正プロジェクトで検討します。
			②自治会運営の胆は”会員の声を如何に反映できるか”である。個人的誹謗中傷以外の動議・ご意見はありのまま受け入れて本部役員会の議事として審議されるべきである。コロナ禍で緊急動議を出したが、本部役員会でどのように対応しているか、傍聴させていただいた。傍聴者があった場合は議事録に記録を残す。なかった場合も傍聴者なしと記録を残すように、議事録作成マニュアルを改正してほしい。	会則改正プロジェクトで検討します。
			③会則では本部役員会の傍聴が可能になっているが、傍聴席を設けることを会則に規定してほしい。	現会則で十分だと思う。
			④各専門部の部員配属人数は各町のバランスの取れたものとするために、以前と同じような配属人数にしてほしい。	自治会改革プロジェクトで班長の専門部会配属等を検討していますので、そこで検討します。
			⑤自治会活動の年齢枠等の設定、たとえば65歳以下を対象にする、健康状態(高齢者の運転免許証更新審査結果を参考に)等を加味して役員の選任等	同上
			⑥公園等の清掃活動は将来的には行政に返上するかボランティア主導の活動にするか検討してほしい。	同上
			⑦防災・福祉＋民生委員の連携一元化は超超高齢や社会では必須、行政、社会福祉協議会との連携、10年前には恒例だった講習会等の復活を望む。	同上
			⑧第2号議案の営繕費の施行については、実行予算ベースの開示、見積比較、業者決定、施工品質、検収等が適切に行われたか、提示してほしい。	会計監査で確認していただいている。
			⑨5号議案の営繕費4,290,000円についても同様	競争見積もりを取って、工事計画書も作成している。
			⑩主要活動プロジェクトの成果物の解説並びに施工前の意見聴取をしていただきたい。できれば、改善検討の内容を適宜報告いただきたい	自治会改革プロジェクト、会則改正プロジェクトで検討します。
			⑪議事録等文書には文責を明記するようにしてください。	議事録作成マニュアルに明記しています。
12	3-1-1	渡辺 信夫	イベント企画部長名がない	訂正します。

NO	班名	提案者	意見	対応
			夏祭りも例年並みの予算ですが、規模を縮小しないと高齢化や猛暑でできないのではないのでしょうか。	
13	3-2-8	西村 俊秀	自治会館の利用について緩和すべきです。公的施設や野球場等では観客数だけでなく、ビールの販売もされています。感染対策は自主性に任せて開放してはどうでしょうか。	市原市の指針や指導をベースに対応しています。
14	3-3-20	長谷川 隆平	電力(200V)は何に使用されていますか。	空調機です。
15	4-2-8	原田 芳夫	「桜台自治会改革プロジェクト」の改革案の実施を求めます。	承知しました
			班長は希望ではない。負担の一層の軽減をお願いします。	承知しました
16	1-1-6	土屋 聡	令和3年度会計報告13.雑費について、決算額256,385円に対して内訳は106,315円のみ記載ですが残り何に使われたのでしょうか。また決算額が56,385円予算をオーバーしましたがその理由は	代表的な項目を載せましたが、雑費の項目は30項目以上にわたりますので記載していません。雑費の勘定元帳を議事録には添付させていただきます。前年度から増えたものは、会館前ケヤキ伐採費用(29,475円)、テレビモニター廃棄費用(10,700円)等があります。
			第5号議案、令和4年度会計予算案13. 雑費の予算が50,000円増えて250,000円に増額していますが、その理由をお知らせ下さい。	昨年度の決算を踏まえて50,000円増加させました。





第42期桜台自治会定期総会委任状議決集計結果

		1丁目集計		2丁目集計		3丁目集計		4丁目集計	
		承認	否認	承認	否認	承認	否認	承認	否認
1	会議の成立条件	166	0	281	0	252	0	157	0
2	議長団の選任	165	1	281	0	252	0	157	0
3	第1号議案	166	0	281	0	252	0	157	0
4	第2号議案	164	2	281	0	251	1	157	0
5	第3号議案	166	0	280	1	252	0	157	0
6	第4号議案	166	0	281	0	252	0	157	0
7	第5号議案	164	2	281	0	251	1	157	0
		自治会集計		議決%					
		承認	否認						
1	会議の成立条件	856	0	73%	成立				
2	議長団の選任	855	1	73%	承認				
3	第1号議案	856	0	73%	承認				
4	第2号議案	853	4	73%	承認				
5	第3号議案	855	1	73%	承認				
6	第4号議案	856	0	73%	承認				
7	第5号議案	853	4	73%	承認				

3. 令和3年度 会計監査報告書

令和3年度の桜台自治会会計を監査した結果、適正な会計処理であることを確認しました。

令和4年4月9日

桜台自治会会計監査	1丁目	大野 敏雄	
"	2丁目	末永 悟	
"	3丁目	太田 俊一	
"	4丁目	原田 茂	

第3号議案「役員改選」

1. 常務役員

会長	2丁目	: 星野 勝弘	(2丁目選出)	留任
副会長	1丁目	: 中嶋 恵一	(1丁目選出)	留任
	2丁目	: 玉川 雅邦	(2丁目選出)	留任
	3丁目	: 桐田 勝夫	(3丁目選出)	留任
	4丁目	: 荒牧 克彦	(4丁目選出)	留任
地区長	1丁目	: 高橋 峰生	(1丁目選出)	留任
	2丁目	: 片桐 裕	(2丁目選出)	新任
	3丁目	: 藤田 芳夫	(3丁目選出)	新任
	4丁目	: 荒牧 克彦	(4丁目選出)	新任

2. 会計監査

1丁目	: 大野 敏雄	(1丁目選出)
2丁目	: 末永 悟	(2丁目選出)
3丁目	: 太田 俊一	(3丁目選出)
4丁目	: 原田 茂	(4丁目選出)

第4号議案「令和4年度活動方針」案

1. 基本方針

スローガン "みんなで創る 安全で安心の 美しい町"

No.	活動方針
1	<p><u>ともに支えあうまち；助け合う地域社会をめざして</u></p> <p>(1) ボランティア活動に参加し社会貢献をしよう。</p> <p>(2) 交流を増やし人の輪を広げよう。</p> <p>(3) 挨拶・声掛けで人をつなごう。</p> <p>(4) 困っている人がいたら手を差し伸べよう。</p>
2	<p><u>ともに育むまち；温かい心と、未来を託す人づくりをめざして</u></p> <p>(1) 地域で子育てを支援する活動に取り組もう。</p> <p>(2) 現役世代、女性が進んで参加する自治会をめざそう。</p> <p>(3) 地域を挙げて健康づくりに取り組もう。</p>
3	<p><u>ともに培うまち；自然が豊かな住みやすい環境をめざして</u></p> <p>(1) 公園・緑地の愛護活動を推進しよう。</p> <p>池や公園、緑豊かな自然を守っていこう。</p> <p>(2) ルールを守って迷惑行為がないまちにしていこう。</p> <p>(3) 会員、非会員が協力し合ってゴミステーションを管理しよう。</p>
4	<p><u>ともに守っていくまち；安全で安心なまちをめざして</u></p> <p>(1) 災害想定に基づいた実際の防災活動に見直していこう。</p> <p>(2) 机上防災訓練を実施して、防災マニュアルを見直そう。</p> <p>(3) 一人ひとりが防犯知識を高め、集団的防犯力を向上させよう。</p>
5	<p><u>高齢化が進む桜台自治会の改革をめざして</u></p> <p>(1) 役員の業務を削減し誰でも引き受けやすくなるようにしよう。</p> <p>(2) 専門部活動を見直し、役員にとって負担にならないようにしよう。</p> <p>(3) 夏祭りやフェスティバル等のイベントを見直し、役員の負荷を減らそう。</p>

令和4年度 役員名簿

令和4年4月10日現在

会長	全 般	星野 勝弘	自治会総括						
副会長	総 務 4丁目	荒牧 克彦	福祉部 アドバイザー						
	会 計 3丁目	桐田 勝夫	会計担当						
	企 画 2丁目	玉川 雅邦	ｲﾝﾀｰ企画部 夏祭り実行委員長						
	防 災 1丁目	中嶋 恵一	防災部 アドバイザー						
地区長	1 丁 目	高橋 峰生	文化・体育部 アドバイザー						
	2 丁 目	片桐 裕	生活環境部アドバイザー						
	3 丁 目	藤田 芳夫	広報部アドバイザー						
	4 丁 目	荒牧 克彦(副会長と兼務)	防犯部アドバイザー						
理事	1丁目	1区 小林 宏之	イベント企画部 副部長	3区 古内 久仁雄	広報部 部長				
		2区 黒田 敏治	防災部 副部長						
	2丁目	1区 卯月 英次	イベント企画部 部長	3区 金久保 博	広報部 副部長				
		2区 佐々木 新一	イベント企画部 副部長	4区 生井沢 昌美	文化体育部 部長				
	3丁目	1区 島森 祥太郎	福祉部 部長	3区 外山 仁美	生活環境部 部長				
		2区 隅木 隆	防犯部 副部長	4区 大谷 亜紀子	文化体育部 副部長				
	4丁目	1区 石神 淳	防災部 部長	3区 田丸 良樹	生活環境部 副部長				
		2区 高橋 洋史	福祉部 副部長	4区 永宗 勇次	防犯部 部長				
班	1丁目	1区		2区		3区		/	
		1班 浅見 彰	生環	7班 佐伯 静彦	広報	14班 見上 弘泰	生環		
		2班 小川 達生	ｲﾝﾀｰ	8班 岩本 淳一	福祉	16班 鈴木 令子	文体		
		3班 新田 栄六	防災	10班 児山 順	ｲﾝﾀｰ	17班 相川 淑紀	防災		
		5班 時谷 和歳	防犯	11班 江藤 精彦	防犯	18班 高橋 敏江	文体		
		6班 渡辺 晴夫	生環	13班 -		19班 宮川 由美子	防災		
	2丁目	1区		2区		3区		4区	
		1班 森田 雅昭	文体	26班 中島 芳	防災	3班 佐藤 勉	文体	13班 舞立 豊	防災
		4班 松本 彰二	広報	27班 小柳 勝則	防災	6班 加藤 英夫	文体	14班 藤井 茂	文体
		5班 小野 千賀志	ｲﾝﾀｰ	28班 宮崎 悦子	広報	8班 野村 栄一	ｲﾝﾀｰ	15班 田中 和子	福祉
		20班 佐藤 隆哉	広報	30班 稲本 孝一	ｲﾝﾀｰ	9班 成澤 慎人	防災	16班 鈴木 浩二	生環
		21班 秋元 重敏	ｲﾝﾀｰ	31班 田中 義雄	防犯	11班 生盛 千大	防犯	17班 外山 恵子	福祉
		22班 藤富 泰子	生環	32班 傳井 眞	防犯	12班 福地 敏雄	文体	18班 桶川 和秀	生環
		23班 久保田 健司	文体	33班 根本 清司	生環	-		-	
		24班 桐生 一郎	ｲﾝﾀｰ	34班 須賀 光一	文体	-		-	
		-		35班 木村 弘	福祉	-		-	
	3丁目	1区		2区		3区		4区	
		1班 宮山 哲夫	防災	8班 中村 俊洋	文体	15班 伊倉 康子	文体	22班 佐藤 正彦	防災
		2班 渡辺 清彦	ｲﾝﾀｰ	9班 松本 聖雄	ｲﾝﾀｰ	16班 大坂 謙志郎	防災	23班 古野 庄治郎	生環
		4班 齋藤 克弘	広報	10班 遠藤 進	文体	17班 中村 勝治	ｲﾝﾀｰ	24班 甲木 博	広報
		5班 吉田 洋一	生環	11班 桐田 勝夫	防災	18班 滝沢 千秋	福祉	25班 高橋 敏雄	文体
		6班 谷津 さをり	福祉	12班 本間 功	防犯	19班 木村 護	ｲﾝﾀｰ	26班 青木 博司	生環
		7班 下條 喜宣	生環	13班 甲野 達男	ｲﾝﾀｰ	20班 永松 典俊	防災	27班 奥本 康大	広報
		-		14班 道野 辰裕	文体	21班 滝口 則男	防犯	28班 野末 正男	防犯
4丁目		1区		2区		3区		4区	
		1班 野村 和孝	生環	6班 増田 清司	防災	12班 野村 正綱	広報	19班 桜田 敏彦	文体
		2班 白石 正彦	福祉	7班 増田 勉	防災	14班 見山 文男	福祉	20班 鈴木 善統	防犯
		3班 大下 信生	文体	8班 河野 弘司	防災	16班 秋元 健太	文体	22班 小野寺 宏行	ｲﾝﾀｰ
		4班 塔谷 太作	防犯	9班 齋藤 クメ	生環	18班 谷口 弘人	生環	24班 北村 邦雄	防犯
		5班 町田 万里子	文体	10班 山田 保	ｲﾝﾀｰ	-		-	
会計監査	1丁目		2丁目		3丁目		4丁目		
	大野 敏雄		末永 悟		太田 俊一		原田 茂		
顧問	江田 昭 (IT担当)								

(注) 防災；防災部、防犯；防犯部、生環；生活環境部、福祉；福祉部、文体；文化・体育部
 広報；広報部、ｲﾝﾀｰ；イベント企画部